

記入例

保健師助産師看護師学校養成所指定規則における教育内容と
外国看護師学校養成所の履修科目

様式 4

申請者氏名：Kansai renn（カンサイ レン）

1単位は、講義 15 時間で計算しています。臨地実習 45 時間で計算しています。

(注)※ 記入欄が足りない場合は行を追加してください。

※このファイルは申請が終了するまで破棄せずに保存しておいてください。

講義、臨地実習の1単位を何時間で換算しているか、必ず記載すること。

申請者の履修科目を日本の教育内容に合わせて1科目ずつ記載する。

教 育 内 容			時間 数①	申請者の履修科目	単 位 数	時間 数②	差引 ②－①
基礎分野	論理的思考の基盤	・コミュニケーションの基礎となる読解力及び表現力を養う内容 ・情報通信技術（ICT）の基礎的知識や情報管理を学ぶ内容		英語「基礎、会話、医学英語」	6	90	
				情報技術「コンピューターの操作」	3	45	
				情報管理	2	30	
				コミュニケーション技術	3	45	
	計		35	「論理的思考の基盤」の計	14	210	175
	人間と生活・社会	・保健・医療・福祉を取り巻く社会の仕組みを知るための基礎的能力を養う内容 ・人権の重要性について理解し、倫理的な視点や尊厳の保持について学び、人間を生活者として理解するための内容		社会福祉の仕組み	1	15	
				臨床心理学	2	30	
				生命倫理	2	30	
				医療倫理	1	15	
	計		35	「人間と生活・社会」の計	6	90	55
	小計①		70	基礎分野の合計時間	20	300	230
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	・人体の構造と機能について、生活行動の観点から理解する内容		解剖学	4	60	
				生理学	4	60	
				生化学	3	45	
				免疫学	2	30	
	計		105	「人体の仕組みと働き」の計	13	195	90
	栄養	・疾病の成り立ちと回復を理解するのに必要な薬物、感染症、栄養等に加え、感染と予防について理解するための基礎的知識を学ぶ内容		栄養学	2	30	
				生化学	2	30	
				食品衛生学	1	15	
	計		35	「栄養」の計	5	75	40
	薬理			薬理学(薬剤学)	3	45	
				漢方、ハーブの基礎知識	2	30	
	計		70	「薬理」の計	5	75	5
	疾病の成り立ち			病理学	4	60	
				遺伝学	2	30	
				感染症	2	30	
	計		105	「疾病の成り立ち」の計	8	120	15
	保健医療福祉の仕組み 看護と法律	・准看護師としての役割と責任を果たすために、保健医療福祉の仕組みを理解し、かつ、看護に係る法制度と結び付けて学ぶ内容		診察および医療に関する法律	1	15	
				看護師の業務に関する法律	1	15	
				衛生保健	1	15	
	計		35	「保健医療福祉の仕組み」「看護と法律」の計	3	45	10
	小計②		350	専門基礎分野の合計時間	34	510	160

教 育 内 容			時間 数①	申請者の履修科目	単位 数	時間 数②	差引 ②－①
専 門 分 野	【講 義】		735	専門分野の[講義]の合計時間	65	975	240
	基礎看護		385	『看護概論』『基礎看護技術』『臨床看護概論』の計	32	480	95
	看護概論	・ 看護の基盤となる「看護」及び「環境」「健康」「人間」の概念、生活者としての対象の理解、准看護師の役割と機能、在宅などの多様な場における療養生活や基礎的な災害時の看護について学ぶ内容 ・ 患者の人権を守るとともに倫理に基づいた行動がとれる内容					
				看護の歴史・変遷	1	15	
				看護理論「健康の概念」「看護の概念」	2	30	
				看護倫理学	2	30	
				人の成長発達理論	2	30	
				地域看護学	1	15	
				災害時の看護	1	15	
				災害看護			
	計		70	『看護概論』の計	9	135	65
	基礎看護技術	・ 患者等の心理を理解し、信頼関係を深めることができるコミュニケーション技術を身につける内容 ・ 根拠を理解した上で、自立/自律して対象の状態に応じた看護技術を安全・安楽に提供することを目指す内容		基礎看護1「日常生活援助技術」	4	60	
				基礎看護2「診療の補助技術」	3	45	
				基礎看護3「患者の安全をまもる技術」	2	30	
				臨床看護技術1「コミュニケーション理論・技術」	2	30	
				臨床看護技術2「ボディメカニクスの基礎技術」	2	30	
				臨床看護技術3「症状に応じた看護技術」	2	30	
				基礎看護技術評価	1	15	
				リハビリテーション技術	2	30	
	計		245	『基礎看護技術』の計	18	270	25
	臨床看護概論	・ 患者の状態や変化を的確に観察した上で、適切に報告し、記録できる能力を養う内容		患者の状態の観察方法	2	30	
				看護の記録・報告	2	30	
				看護アセスメント技術	1	15	
	計		70	『臨床看護概論』の計	5	75	5
	成人看護 老年看護	・ 成人、老年期の対象の理解と必要な看護についての内容		成人期と老年期の成長発達	2	30	
				成人期と老年期の疾患	3	45	
				外科看護「機能別疾患と看護」	4	60	
				内科看護「臓器別疾患と看護」	4	60	
				救命救急	2	30	
				リハビリテーション看護	3	45	
	計		210	「成人看護」「老年看護」の計	18	270	60
	母子看護	・ 母性と小児の理解と必要な看護についての内容		小児の成長発達	1	15	
				小児疾患と看護	3	45	
				母体の変化と看護	2	30	
				正常な周産期の看護	2	30	
				産褥期の看護	2	30	
	計		70	「母子看護」の計	10	150	80
	精神看護	・ 精神疾患を持つ対象の理解と必要な看護についての内容		精神保健	2	30	
				精神疾患患者の看護	3	45	
	計		70	「精神看護」の計	5	75	5

教 育 内 容			時間 数①	申請者の履修科目	単位 数	時間 数②	差引 ②－①	
専 門 分 野	【臨地実習】		735	専門分野の【臨地実習】の合計時間	31	1395	660	
	基礎看護実習	・看護の対象の理解を 促し、各科目で学習した療養上の世話と診療の補助を体験する内容 ・自身の行った看護実践を振り返り、安全・安楽な看護について考え実践する姿勢を養う内容 ・チームにおける准看護師の役割や責任を意識しながら援助を行う視点を養う内容 ・在宅などの多様な場における対象者の療養生活を学ぶ内容		基礎看護学実習1「入院患者の日常生活の援助実習」	3	135		
				基礎看護学実習2「入院患者の診療の援助技術実習」	3	135		
	計		210	「基礎看護実習」の計		6	270	60
	成人看護実習 老年看護実習			内科看護実習1「内科疾患患者の看護実習」	4	180		
				外科看護実習「手術を受ける患者の看護実習」	4	180		
				リハビリテーション看護実習	3	135		
				救命救急実習	3	135		
	計	385	「成人看護実習」「老年看護実習」の計		14	630	245	
	母子看護実習		産科看護実習	4	180			
			小児看護実習	4	180			
計	70	「母子看護実習」の計		8	360	290		
精神看護実習		内科看護実習2「精神疾患患者の看護実習」	3	135				
計	70	「精神看護実習」の計		3	135	65		
	小計③		1470	専門分野(【講義】と【臨地実習】)の合計時間	96	2370	900	
合計（①＋②＋③）			1890	①基礎分野、②専門基礎分野、③専門分野の合計時間	150	3180	1290	